

令和4年度 宇都宮市立平石中央小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

豊かな人間性と創造力を持ち、自主的精神に満ち、心身共にたくましく、実践力のある児童の育成を目指す。

- ・明るく元気できたえる子（鍛える）
- ・おちついてよく考える子（考える）
- ・みんな仲よくきまりを守る子（思いやる）
- ・ねばり強くやりとげる子（実行する）

※ 平央小の合言葉 「みんな 明るく なかよく 元気よく がんばるぞ」

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「子供たちが行きたい、保護者が通わせたい、教職員が勤めたい学校づくり」

児童が生き生きと生活し、自分の目標に向かってよりよく成長している姿があって、はじめて地域や保護者に信頼される学校となる。そして、児童の成長している姿を実感できることが教職員の喜びとなる。

これらの視点からテーマを設定した。そこで、児童が生き生きと自分らしさを発揮し豊かに学び合う学校、教職員が教育の喜びを実感できる学校、保護者・地域住民から信頼され地域とともにある学校づくりを目指す。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 楽しく居がいのある学校づくりの推進に努める。
- (2) 生きる力を育む教育実践に努める。－基礎・基本の定着及び活用する力の育成と学ぶ意欲の向上－
- (3) 社会の一員として共に生きることのできる能力や態度の育成に努める。
- (4) 特色ある学校づくりを推進し、学校・家庭・地域との効果的連携を図り、児童の健全育成と地域とともにある学校づくりに努める。－創立150周年に向けた準備を通じた地域・家庭との連携の強化－
- (5) 教職員の資質・能力の向上を図り、信頼される教職員の育成に努める。
- (6) ○地域学校園の重点課題の達成に努める。

[鬼怒地域学校園教育ビジョン]

自分でよく考え 未来に向かって たくましく生きる子供の育成

- (7) 複式学級の効果的な運営及び業務のスリム化や勤務時間を意識した働き方を推進するように努める。
- (8) コロナ感染症対策を徹底し、状況に応じた適切な対応に努める。

4 教育課程編成の方針

確かな学力を身に付け、豊かな心や健やかな体を育成し、児童一人一人の個性や能力を伸ばし、夢を育むとともに、家庭・地域との連携・協働により地域に開かれた信頼される学校作りを目指して編成する。

今年度は複式2学級対応に取り組む。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【 学 校 運 営 】

- ・教職員の資質・能力の向上と複式2学級の実施に伴う更なる校務見直しによる働き方改革の推進
- ・低高2ブロック全教職員による複式学級の推進とチーム平央の教職員力の向上

【 学 習 指 導 】

○一人一人に応じた分かる授業の展開と、自ら考え意欲的に学び合う児童の育成

【 児 童 生 徒 指 導 】

○さわやかなあいさつ、適切な言葉づかいのできる児童の育成

【健康（体力・保健・食・安全）】

○進んで健康・体力の向上に取り組む児童の育成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目 指 す 児 童 の 姿	A1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】児童の肯定的回答 85%以上	① IT や習熟度別指導による分かる授業を展開し、児童の学習意欲を高める。 ② 多様な授業形態を取り入れ、言語活動を生かした表現の場を設ける。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は100%で、指標の85%を上回った。児童は、授業に熱心に取り組んでいる。 【次年度の方針】 ・引き続き、分かる授業を展開したり、多様な学習活動を取り入れたりすることにより、児童の学習意欲を高める。
	A2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】児童の肯定的回答 85%以上	① 道徳科の授業において、考え、議論する展開を図る。 ② ファミリー班活動や学校行事等における異年齢児童との活動の機会の設定、地域の大人との交流などにより、学年・学校を超えた人とのかかわりを深める。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は100%で指標の85%を上回った。様々な他者とのかかわりの場面で、相手の立場になって考え、判断し、行動することができるようになってきた児童が多い。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。 ・異年齢交流を行う中で気遣いをする経験を通して、思いやりの心を育てていく。 ・自己肯定感を高められるように、教師が肯定的な言葉かけを継続して行う。
	A3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】児童の肯定的回答 85%以上	① 授業や行事等の開始時刻を守るよう全校体制で取り組む。 ② 時と場にふさわしい言動をとれるよう指導する。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は95.9%で指標の85%を上回った。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。 ・はじめをつけて清掃や委員会の仕事などに取り組めるよう指導していく。
	A4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】児童・保護者の肯定的回答 85%以上	① 保護者や地域と連携し、「よい子のめあて」や月目標をもとに、決まりを守り、さわやかなあいさつができるようにする。 ② あいさつ強化週間の設定・児童会活動の活性化等を図り自発的にあいさつができる環境づくりをする。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は98%で指標の85%を上回った。保護者の肯定的回答は81.8%で指標の85%を下回ったが、昨年度より向上した。 ・地域住民の肯定的回答も100%であったことから、地域・家庭・学校生活で時と場に応じた挨拶ができるようになってきていると捉えられる。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。 ・学校全体で場に応じた指導をしていく。 ・児童主体のあいさつが習慣づくよう、児童会活動であいさつ運動を行っていく。 ・地域や保護者とも連携し、あいさつ運動を行うなどし、あいさつの活性化を図っていく。
	A5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】児童の肯定的回答 85%以上	① 水泳検定、なわとび検定等の教育活動において、目標を達成する学習過程を重視した指導に努める。 ② 「宮っ子心の教育表彰」等を活用し、児童の努力や良さを認め励ます教育を推進する。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は98.0%で指標の85%は上回るとともに、昨年度(92.2%)を上回った。水泳検定や縄跳び検定、運動会の取組などで意欲的に活動する児童が見られた。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続すると共に児童一人一人の良さを見取り、伝えていくようにする。

<p>A6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】児童、教職員、保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 定期健康診断や避難訓練、交通安全教室等を計画的に実施するとともに、体験活動を通じた指導を行う。</p> <p>② 各種便りを定期的に発行し、HP 等を活用して保護者への啓発を図る。</p> <p>③ 歯みがき指導やフッ化物洗口など歯と口の健康づくりに取り組み、習慣化を図る。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の肯定的回答 95.9%、保護者 90.9% 教職員 100%でそれぞれの指標の 85%を上回った。 ・様々な感染症対策や児童へのアンケートを実施した。児童は感染症予防の知識や必要性、心身の健康の大切さを理解し、健康や安全に対する意識が向上したことが感じられた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組を継続する。
<p>A7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】児童の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 夢プロジェクトやキャリア教育などにより、夢や目標をもち、努力し、主体的に活動しようとする大切さや喜びを実感させる教育活動に取り組む。</p> <p>② 自分の特性の理解やよりよい人間関係づくりを通して、主体的に働こうとする態度を育む。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の肯定的回答は98.0%で指標の85%は上回るとともに、昨年度(92.2%)からも上昇した。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組を継続し、将来の自分の姿について折に触れてイメージをもたせるようにする。また、今年度は行えなかった音楽鑑賞会を実施したり、様々な職業に触れる機会を設けたりするなど、自分のこれからの生き方を考えられるようにする。
<p>A8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】児童、教職員の肯定的回答率 85%以上</p>	<p>① ALT と連携し、学年の実態に応じ、外国語活動に取り組むことで、英語に親しみ、積極的に英語を使ってコミュニケーションをとろうとする態度を養う。</p> <p>② ALT との給食や昼休みの交流を通して、学校生活の中で英語を使う機会を設ける。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の肯定的回答は95.9%、教職員は100%で指標の85%を上回った。ALT と連携してテンポよく外国語活動を行っているため、英語を使ったコミュニケーションがとれるようになってきている。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組を継続すると共に、学年に応じた基礎的な英単語や言い方について繰り返し練習をし、身に付けられるようにする。
<p>A9 児童は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】児童、保護者の肯定的回答率 85%以上</p>	<p>① 生活科や社会科、総合的な学習の時間において、平石地区や宇都宮市を教材とした学習を展開する。</p> <p>② 地域の情報を、学校だより等で発信することにより、地域の良さを実感できるような児童や保護者の地域活動を推進する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の肯定的回答は95.9%と昨年度(92.2%)を上回るとともに、指標の85%を上回ったが、保護者の肯定回答は65%で指標を下回った。社会や総合的な学習で取り組んできたが、その成果が保護者へ伝わるまでには至っていないと思われる。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組を継続しつつ、次年度も宇都宮学での取組を、学校だよりや学年だよりによる発信を強化する。
<p>A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】児童、教職員の肯定的回答率 85%以上</p>	<p>① 児童の発達段階や、各教科等の学習の特色に応じた一人一台端末の効果的な活用を推進し、児童の情報活用能力の育成に努める。</p> <p>② 情報教育担当や司書、学級担任が連携し、PC や図書室等を活用した調べ学習や発展学習の充実を図る。</p> <p>③ 図書だよりによる啓発や読書週間における家庭と連携した取組など、学校図書館を核とした読書活動を推進する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の肯定的回答は100%、教職員94.1%であり指標の85%を上回っている。タブレットが導入され授業等で積極的に活用してきた成果と思われる。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組を継続し、さらなる活用が図られるようにする。

	<p>A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】児童の肯定的回答率 85%以上</p>	<p>① 道徳科の授業と学校行事等と関連させ、人を思いやる心などを涵養する。</p> <p>② 各教科の授業や学校行事などを通して、高齢者への感謝やいたわりの気持ちを実感させる教育活動に取り組む。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の肯定的回答は100%で指標の85%を上回った。祖父母と暮らす児童も多いため、家庭で高齢者に対する気遣いや配慮ができていと考えられる。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「昔遊び集会」や「白寿の里」訪問等、実祖父母以外の高齢者との交流も継続できるように計画を立てていく。
	<p>A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】児童、教職員の肯定的回答率 85%以上</p>	<p>① 学校農園活動など、自然の大切さを実感させる教育活動に取り組む。</p> <p>② 親子除草やクリーン活動・節電スイッチオフ運動・リサイクル活動など、学校内外の環境維持を意識させる教育活動に取り組む。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の肯定的回答は98.0%であり、昨年度を上回るとともに指標の85%を上回った。教職員は82.4%で昨年度(81.3%)より上昇が見られたが指標の85%を下回った。コロナ禍の中で再開した各行事が児童の中で浸透していないことが原因と思われる。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組を継続するとともに、地域で推進している活動と学校の取組をつなげ、SDGS等を意識させるようにする。
	<p>B1 児童は、正しい言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】児童・保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 保護者と連携し「よい子のめあて」や月目標をもとに、決まりを守り正しい言葉づかいができるようにする。</p> <p>②家庭での関心を高めてもらい、協力していただく方法でのぞましい言葉遣いの環境づくりをする。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の肯定的回答は89.8%、保護者の肯定的回答は63.6%で指標の85%を下回ったが、昨年度より向上した。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組を継続する。 ・教師が模範となるよう、教師が児童に対して積極的に丁寧な言葉遣いで話したり、道徳科と関連させたりする。 ・児童が場面に応じた言葉遣いで話せるよう、地域や家庭と連携していく。
	<p>B2 児童は、好き嫌いなく食事をしている。</p> <p>【数値指標】児童の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 給食だよりを定期的に発行して食育についての意識を高めると共に、健康的な食事ができない児童に対して個別指導を行う。</p> <p>② 栄養士、養護教諭の授業への参画を推進する。(学級活動)</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理法の工夫や授業への参画、児童へのアンケートの実施を通し、児童の肯定的回答は93.9%で指標を上回った。保護者の肯定的回答は59.1%で指標を下回っており、給食において食べ慣れていない食材に対する苦手意識が強い。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育だよりやおにぎりの日、お弁当の日の活動を通して、親子で給食や家での食事について話し合う機会を設けるように働きかける。
<p>目指す学</p>	<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 校内支援委員会や児童に関する情報交換会を通し、特別な支援を必要とする児童や保護者の情報について共有を図る。</p> <p>② 適切な支援を行い、児童の活動をしっかりとみとる。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答は100%で指標の85%を上回っている。児童指導連絡会などで児童の様子について共通理解を図り、個別対応が必要な児童には別室登校などの対応をとった。また、家庭と密に連絡を取り合ったり、家庭訪問をしたりするなど、登校への働きかけも行った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組を継続する。

校 の 姿	<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】児童・保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 全校体制で様々な機会をとらえ、人権の尊重やいじめの非について指導するようにする。</p> <p>② 子どもたちの様子を観察し、未然にいじめを防ぎ予防に努めるようにする。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は100%で指標を上回った。保護者の肯定的回答は83.3%だったが、昨年度より上回った。 【次年度の方針】 ・児童の気持ちに寄り添った指導・支援を継続しつつ、いじめの予防・解決に学校全体で取り組んでいく。 ・学校だより、学年だより等でいじめゼロ強調月間の取組等について周知するなどし、地域・保護者と共通理解を図りながら、いじめの予防・解決に努めていく。</p>
	<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】児童・教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 職員会議の折の情報交換会等で学級の課題を取り上げ職員の共通理解を図るとともに、適宜、不登校対策委員会を開く。</p> <p>② 友達の良いところを見つける活動等を行うなど、児童の良さや努力などを認める教育を推進する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は100%、教職員の肯定的回答は100%と、ともに指標の85%を上回った。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。 ・児童が主体的に活動できる場面を授業の中に設定するなど、充実感が持てるような学級経営に努めるとともに、不登校傾向が見られる児童については、常に家庭と連絡を取り合うなど、心のつながりも大切にしてい</p>
	<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】教職員の肯定的回答率 85%以上</p>	<p>① 校内支援委員会及び児童に関する情報交換会を通し、特別な支援を必要とする児童や保護者の情報について共有を図る。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は100%で指標の85%を上回っている。 【次年度の方針】 ・児童指導連絡会などで、児童の様子について共通理解を図り、個別対応が必要な児童には学校全体で取り組んでいく。 ・家庭と密に連絡を取り合ったり、家庭訪問をしたりするなどし、家庭との連携を図って</p>
	<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】児童の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 学校行事や係活動等において一人一人が生き生きと活動する場を設定する。</p> <p>② 児童の学習意欲を高める授業の工夫をする。</p> <p>③ 保護者や地域には、学校で生き生きと活動する児童の様子を HP やメール配信、各種便り、回覧板等で積極的に発信する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 98.0%で指標を上回るとともに、昨年度(94.1%)からも上昇した。コロナ禍においても、授業や学校行事などにおいて児童一人一人が主体的に生き生きと活動する場を設定したことが高い肯定的回答につながったと考える。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続し、多様な教育的ニーズへの対応強化に努める。</p>
	<p>A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】児童の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 授業のねらいを明確にし、児童一人一人の学習状況に応じたきめ細かな指導をする。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は100%で昨年度(98%)より上昇するとともに、指標の85%を上回った。授業のねらいを明確にし、児童一人一人の学習状況に応じた指導ができた。 【次年度の方針】 ・引き続き、授業のねらいを明確にし、個に応じた指導をしていく。 ・学年だより等で授業の様子を紹介し、授業参観や学級懇談等で児童の学びについて伝えるようにする。</p>

<p>A 19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① T・TやVTとしての授業参画や、個別指導、授業資料提供等において、市会任職等と教員が十分に連携を図りながら、質の高い教育活動を実践する。</p> <p>② 管理職のマネジメント力向上を図ることで学校の組織力を強化し、同僚性を発揮して児童への指導・支援を充実させる。</p> <p>③ お知らせコーナーの活用や打合せ時間の確保など、共通理解を図る環境を整える。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答は昨年度に引き続き100%で指標を上回った。日常的に教職員相互の連携が図られており、綿密に打合せを積み重ねることで、多様なスタッフの専門性が発揮され、養護教諭や学校栄養士の授業参画、学校図書館司書と図書館教育担当教諭が連携した読書活動の推進等、質の高い教育活動が実践できている。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組を継続することで、学校の組織力を強化し、児童への指導・支援の充実を図る。
<p>A 20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 学校司書業務、ALT、かがやき指導員、学校栄養士業務等が各種教育活動に参画することや、学校事務支援スタッフの有効活用により、教員が児童と向き合う時間を確保するとともに業務の軽減を図る。</p> <p>② PCを活用しての会議の効率化や、打合せ・会議の機会精選などの取組みにより、放課後の教材研究の時間を確保する。</p> <p>③ 学校行事の反省等、教育課程のふりかえりや意見を取りまとめ、職員会議で検討するなど、次年度以降の効率化につながる改善に取り組む。</p> <p>④ 学校徴収金システム、インターネットバンキング等を活用して、出納業務の効率化を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答は昨年度に引き続き100%で指標を上回った。各教職員がそれぞれの専門性を活かし、業務に専念することが、教員の負担軽減、児童と向き合う時間の確保につながるとともに、業務の効率化を進めることにつながった。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組を継続し、業務の改善と勤務時間を意識した働き方改革を推進する。
<p>A 21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】児童・保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 小中一貫教育・地域学校園における各部・分科会での同一歩調の取組を各種便り等で積極的に発信する。</p> <p>② 鬼怒地域学校園のあいさつ運動等の行事を通し、児童・生徒交流を積極的に推進する。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の肯定的回答は 86.7%で、昨年度(86.4%)を上回った。一方で、保護者の肯定的回答は 76.5%と昨年度及び指標を下回った。コロナ禍においても、中学生の職場体験や、中学校教員による乗り入れ授業が引き続き実施されていることや、地域学校園共通のお話給食等も継続して実施されていることから、今後も児童・保護者に対し、取組の趣旨理解に努める。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の取組について、趣旨の明確化を図るとともに、地域学校園で協力し、工夫して情報発信に努める。
<p>A 22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】保護者・地域の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 地域協議会の会議運営の工夫改善により、学校運営への参加促進を図る。</p> <p>② 地域協議会との連携・協働による、保護者や地域人材、企業等を活用した教育活動を積極的に推進する。</p> <p>③ 地域の行事に積極的に協力し、学校と地域の連携を深める。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の肯定的回答は 94.7%、地域は 100%と指標を上回った。今年度も引き続き、コロナ禍にあっても小規模校の強みを生かし、本校独自の行事等を企画・運営してきた。地域協議会の活動も定着・発展してきていることから、引き続き、地域の教育力を生かした特色ある学校づくりの推進に努める。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域協議会と連携・協働し、今年度の取組を継続する。

<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】保護者・地域の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 地域の方々や保護者との交流を深める教育活動を推進し、より効果的な方法で広く情報を発信していく。</p> <p>② 地域協議会コーディネーターと連携し、学校支援ボランティアや街の先生を活用した教育活動を計画的に実施する。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の肯定的回答は 94.7%、地域は 100% で指標を上回った。今年度も引き続き、コロナ禍にあっても小規模校の強みを生かし、地域行事への協力、参画を通して家庭・地域と連携した教育活動を推進した。地域協議会の活動も定着・発展してきていることから、十分連携を図り、よりよい児童の育成に努める。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組を継続する。
<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】保護者・教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 毎月の安全点検を確実に実施し、児童や利用者が安全に活用できる環境づくりに取り組む。</p> <p>② 予算を効果的に活用し、破損箇所の修繕を計画的に行い、安全確保に努める。</p> <p>③ 保護者や利用者へ来校時の注意点の周知、危険箇所の表示、AED の活用、災害時避難方法、危機対応に関する情報を提供する。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の肯定的回答は 81.0%と指標及び昨年度(93.5%)を大きく下回った。保護者への来校時の注意喚起や危険箇所の表示等の成果はあるものの、今年度に限っては、体育館長寿命化改修工事による施設利用の不便さ等が際立ったためと考える。引き続き毎月の点検や計画的な危険箇所の修繕を行い、児童が安全に活動できる環境の整備に努めていく。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組を継続する
<p>A25 学校は、学習に必要な I C T 機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】児童・教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 学習に必要な I C T 機器や図書等が十分に活用していけるように設置する。</p> <p>② 授業等で教職員が十分活用できるよう校内研修等を計画的に行い、周知を図る。</p> <p>③ 研修等を活用し、よりよい活用法を伝え合う。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の肯定的回答が100%、教職員が 94.1%と指標の85%を上回った。学習に必要な ICT 機器や図書の設置が十分に図られた成果と思われる。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組を継続し、さらなる活用を図る。
<p>B3 児童は地域の人や保護者に見守られて安心して登下校している。</p> <p>【数値指標】児童・保護者・地域の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 登下校時に教職員や保護者、地域防犯団体の方が連携して同行、見守りを実施する。</p> <p>② 下校時の見守り活動の活性化を図るため、地域協議会や平石まち協の協力を得ながら、自治会への協力を要請する。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の肯定的回答 100%、保護者は 95.5%、地域は 100%とそれぞれ指標の 85% を上回った。教職員や保護者、地域の方々に見守られながら安全に登下校することができた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組を継続する。
<p>本校の特色・課題等</p> <p>B4 児童はよく考え、自分の意見を発表している。</p> <p>【数値指標】教員及び児童の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 学習の目的やねらいを明確にし、見通しをもって意欲的に取り組ませたり、児童が必然性を感じるような話し合いの場を設定したりして、個々の考えを深めるようにする。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の肯定的回答は100%、児童の肯定的回答は98%で昨年度(88.2%)から大きく上昇するとともに、指標の85%を上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、学習のねらいを明確にし、多様な学習形態を取り入れた発表の機会を増やしていく。さらにタブレットのみの意見の共有とならないよう直接発言する機会を確保することを継続していく。
<p>B5 児童は、友だちと学び合いながら楽しく学習している。</p> <p>【数値指標】教員及び児童の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 言語環境を整えたり、学習のまとめ方を例示したりすることにより、児童の思考や理解を深め、自分の考えを表現する楽しさを味わいながら意欲的に学び合うことができる児童の育成を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の肯定的回答は100%で指標の85%を上回った。児童の肯定的回答は100%で、指標の85%を上回るとともに昨年度よりも上回った。タブレットをうまく活用し学び合うことができた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、児童の思考や理解を深め、自分の考えを表現する楽しさを味わいながら意欲的に学び合えるようにする。さらにタブレットの活用や言語活動を通して学ぶ楽しさを味わえるようにする。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

30ある質問項目のうち、数値指標を達成した項目は23となり、今年度も、コロナ禍以前のような教育活動が行えない中であっても、教職員が知恵を出し合い、児童にとって何が大切かを一番に考え、学校行事等に係る方法等を模索しながら実施したり、児童一人一人を認め励まし、きめ細かに学習指導や児童指導に取り組んだりした結果、児童や保護者、地域に本校の取組が理解され、そのよさ等が認められた成果であると捉えている。

一方で、A4「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」、A9「児童は、宇都宮の良さを知っている。」、A12「児童は、『持続可能な社会』について、関心をもっている。」、A14「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。」、A21「学校は、『小中一貫教育・地域学校園』の取組を行っている。」、A24「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」、B1「児童は、正しい言葉づかいをしている。」の7つについては数値指標を下回った。以下に今後の方向性等について示す。

○A4「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」については、児童の肯定的回答は98.0%であり、指標及び市の平均(94.9%)を上回った。一方で、保護者の肯定的回答は81.8%であり、昨年度(75.8%)は上回ったものの、指標及び市の平均(86.9%)からは下回っている。児童は時と場に応じたあいさつをしていると認識しているが、児童のあいさつが保護者からは「自分から」「進んで」「相手の目を見て」「誰に対しても」「時と場に応じて」等あいさつしていると捉えられていないためと考えられる。今後は、「自分から」「進んで」「相手の目を見て」「誰に対しても」「時と場に応じて」等のあいさつが活性化されるよう、学級や登下校指導等において継続指導するとともに、児童会活動等を通して自発的に児童主体のあいさつが習慣づくような環境づくりに努めていく。また、これまで以上に地域協議会等と連携し、家庭や地域と一体となったあいさつの実践的な活性化を図っていききたい。

A9「児童は、宇都宮の良さを知っている。」については、児童の肯定的回答は95.9%であり、指標及び昨年度(92.2%)、市の平均(84.5%)を上回った。これは、生活科や社会科、総合的な学習の時間、宇都宮学、道徳科の地域教材において宇都宮市や平石地区について児童の実態に即した学習にしていねいに取り組んだ成果と考える。一方で、保護者の肯定的回答は65.0%であり、指標及び昨年度(75.0%)及び市の平均(68.9%)を下回った。今後は、今年度の取組を継続するとともに、授業参観等で「宇都宮の良さ」について考える学習を取り入れた授業を公開したりするなど、保護者への情報発信について積極的に努めていく。

A12「児童は、『持続可能な社会』について、関心をもっている。」については、児童の肯定的回答は98.0%であり、指標及び昨年度(90.2%)、市の平均(84.7%)を上回った。一方で、教職員の肯定的回答は82.4%であり、市の平均(76.4%)及び昨年度(81.3%)は上回ったものの、指標からは下回っている。これは、コロナ禍において教育活動全体に制約が生じ、各種行事が満足にできなかったことが原因の一つであると考えられる。今後は学校内外の環境維持を意識させる教育活動の意義等について共通理解を十分に図った上で、これまで以上に学校農園活動やリサイクル活動等に取り組んでいく。

A14「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。」については、児童の肯定的回答は100.0%であり、指標、昨年度(96.1%)及び市の平均(96.8%)を上回った。また、保護者の肯定的回答は83.3%であり、昨年度(81.5%)及び市の平均(81.8%)は上回っているが、指標からは下回っている。今後は、これまでの取組を継続するとともに、道徳科の学習はもとより日常の様々な機会を捉えて、いじめが許されない行為であるということを全校体制で指導することを通して、児童の人権尊重の精神を涵養していく。また、日頃から児童の様子をつぶさに観察し、いじめの未然防止に努めている学校の取組を学校だよりや学年だより等で積極的に保護者に周知していく。

○A21「学校は、『小中一貫教育・地域学校園』の取組を行っている。」については、児童の肯定的回答は86.7%であり、指標及び昨年度(86.4%)、市の平均(77.5%)を上回った。保護者については、肯定的回答は76.5%であり、指標及び昨年度(79.3%)、市の平均(80.2%)を下回った。コロナの影響でこれまで実施されていなかった地域学校園における小中合同のあいさつ運動が3年ぶりに実施されたり、中学校教員による乗り入れ授業や、地域学校園共通のお話給食等は着実に実施されたりしていることから、児童や保護者に対し取組の趣旨等をていねいに説明するとともに、学年だよりや学校ホームページ等を活用した情報発信に努めていく。

A24「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」については、教職員の肯定的回答は94.1%であり、指標は上回ったものの、昨年度(100.0%)、市の平均(97.4%)を下回った。また、保護者の肯定的回答は81.0%であり、指標及び市の平均(90.8%)、昨年度(93.5%)を大きく下回っている。これは、体育館長寿命化改修工事による施設利用の不便さが際立ったことが原因の一つではないかと考える。今後とも、毎月の安全点検や計画的な危険箇所の修繕にしていねいに取り組み、児童はもとより学校を利用する人々が安全に活動することができる環境整備に努めていく。

○B1「児童は、正しい言葉づかいをしている。」については、児童の肯定的回答は89.8%であり、指標及び昨年度(84.3%)を上回った。一方、保護者の肯定的回答は63.6%と、昨年度(62.5%)から若干上回ったものの、指標からは大きく下回っている。学校内では、教職員からの働きかけにより、児童自身が正しい言葉づかいで話そうと努める姿が見られるようになってきたと認識しているが、保護者については、全体的に児童の言葉づかいが「いつでも」「誰に対しても」「時と場に応じて」「ていねいな」等、常に正しい言葉をつかっているとはいえないと受け止めている状況がうかがえる。今後とも、これまで

以上に教職員が共通理解を図り、すべての場面で児童が正しい言葉、気持ちのよい言葉をつかえるように日常的に根気強く指導にあたるとともに、正しい言葉遣いは学校だけで身につくものではないことから、家庭においても、正しい言葉遣いの励行に努めるよう、学校だよりや学年だより等に啓発を図るような内容を掲載する等、家庭と連携した取組をより一層推進していく。

7 学校関係者評価

地域協議会において、目標指標に届かなかった項目を中心に評価の総括を行った。委員からは、全体的に好意的な評価が示され、コロナ禍にあっても本校が宇都宮の中で一番小さい学校という強みを生かし、日々の教育活動に真摯に取り組んだ成果であるなど、学校の取組に対し、一定の理解が得られた。

一方で、A12「児童は、『持続可能な社会』について、関心をもっている。」については、「持続可能な社会」を目指すために、学校においてはSDGsをどのような位置付けで取り扱っているのか、質問が出された。学校においては、生活科や総合的な学習の時間において、環境に関する内容を学習していることや、児童会が中心となって行うクリーン活動を通して、地域の清掃美化に取り組んでいると報告した。

また、A10「児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」については、地域協議会委員である保護者から、授業参観等では、どの学級の児童もタブレットを活用した学習が積極的に展開されており、ICTを活用する能力の育成に学校が進んで取り組んでいるのはありがたい等の意見が出された。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

全体としてよい評価をいただいたが、学校の自己評価や児童・保護者・地域の皆様から寄せられた貴重な意見を真摯に受け止め、次年度の方策について具体的に検討していきたい。

○「あいさつ」や「正しい言葉づかい」については、家族的な雰囲気にあふれ児童同士や児童と教職員等の距離が非常に近い本校においては、かねてから課題であることから、学校・家庭・地域・地域学校園が連携し、これまで以上に正しい言葉づかい、気持ちのよいあいさつができる児童の育成を目指し、教科等の学びと関連させながら、学校行事や児童会活動等を通して、正しい言葉づかいや気持ちのよいあいさつができるよう、学校全体で共通実践に努めていく。

・「いじめの未然防止」や「いじめに対する指導」については、今後とも、これまでと同様に、一人一人の人権意識の涵養を目指し、全教職員で真摯に取り組んでいく。特に、一人一台端末（タブレット）が配備されたことにより、インターネットによるいじめが起こることも想定されることから、どんな形であっても、いじめが許されない行為であることはもとより、一人一人の人権を大切にすることの大切さ等をいねいに指導していくことを通して、すべての児童が安全に、楽しく学校生活を送ることができる環境づくりに努めていく。